

キャラクター名
阿澄 信 (アスミ シン)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	探偵	カヴァー	探偵
	パロール					
オプション			年齢	28	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	殺戮	初期侵食率	34 %	
出自	義理の両親	経験	出世	邂逅	幼子(PC4)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	0	0			1	行動値	12
感覚	3	0	1			4	(非装備時)	12
精神	2	1	1			4	戦闘移動	17
社会	2	0	1			3	全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達	1	
運転 :バイク	2		芸術 :			知識 :			情報 :裏社会	3	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
剣戟装填 (ソードパレット)	射撃	4r+4				
剣戟装填・拡(ソードパレット・スプレッド)	射撃	4r+4				
極右翼ブレード	白兵	1r	5	12		
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
バイク	

合計装甲 : 0 合計回避 : 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
起源種	P	N		
梓川 楓	P 誠意	N 隔意		
友巻 マキ	P 庇護	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果 : 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果 : コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー			自動	シンドローム	
効果 : 組み合わせた判定のクリティカル値を□LVする(下限7)								
インフィニティウェポン	1	3	マイナー		自身	自動		
効果 : 種別技能:白兵 攻撃:LV+7 ガード値:3								
カスタマイズ	3	2	メジャー		武器	白兵・射撃		
効果 : このエフェクトに組み合わせた判定のダイスに+LV個する								
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	武器	白兵・射撃		
効果 : 組み合わせた攻撃の対象を範囲(選択)に変更する。判定後に武器は破壊される。								
魔弾の射手	2	4	メジャー	視界	単体	射撃		
効果 : 貴方の所持している武器二つの攻撃と命中を合計して射撃攻撃を行う。攻撃の成否にかかわらず、判定後破壊される								
ダブルクリエイト	1	3	マイナー			自動成功		
効果 : インフィニティウェポンで作る武器を二つにする								
砂の加護	3	3	オート	視界		自動	R/1	
効果 : 対象が判定を行う直前に使用する。その判定のダイスを+ [LV+1] 個する。このエフェクトは1ラウンドに1回まで使用できる。								
サポートデバイス (感覚)	2	6	SUP		武器	自動	80%	
効果 : 選択した基礎能力値をLv×2する。このシナリオはシナリオ3回まで使用できる								
	1							
効果 :								
帝王の時間	★							
効果 : 自分の時間だけをゆっくりにするエフェクト								
効果 :								
効果 :								
効果 :								

とある街の隅っこで探偵事務所を営む男性。自身をおじさんと自称し、「世の中クソだな」が口癖。両親が早くに亡くなり、親戚夫婦に養子として引き取られた。後の親戚夫婦に子供が生まれ、四人家族として何ん自由ない生活を送ってきた。早くから警察官を目指し、順当に進学、任官した。早くから頭角を現し、期待のルーキーとして注目されていた。その内面には罪を許さないという真っすぐな芯があり、誠実かつ真面目な警察官として人からは見られていたであろうことは想像に難しくない

25歳の誕生日を祝い、レストランに訪れたところジャームに襲われる。そこで家族を目の前で失った時、オーヴァードとして覚醒した。彼は力を制御しきれずジャームを撃退こそできたものの、戦闘に巻き込まれ、多くの市民の命を奪う形になってしまった。彼は事件の追求と己の断罪を求めたが警察は事件の捜査を打ち切り、さらには殺人鬼から市民を守った誇りある警察官として彼を表彰した。家族を失い、信じていた安寧も、秩序ある正義も、所詮まがい物であり、世界はうそっぱちの安寧であるという事を知った彼は警察を辞職し、探偵となった。